

# 防災黒松

黒松自治区推進協議会

防災部会

# 活動の目標

どんな災害に遭遇しても、犠牲者を出さない。子供から高齢者まで全員参加の防災組織を築く。

- 自助・・・自分の命は自分で守る
- 共助・・・防災活動を通じて醸成する近隣がお互いに地域を守ること、または備えること
- 公助・・・行政・警察・消防・ライフラインを支える機関による応急・復旧対策活動

## 防災に対する意識

自助＋共助：公助　＝　8：2



# 組織の立ち上がり

## ○ きっかけ:

阪神淡路大震災・東日本津波の報道を見聞きして、海から数m、海拔5m～10mの黒松地域住民の安全を守るには！と立ち上がる

## ○ スローガン:

“どんな場合でも自分の命は自分で守る”

“どんな災害に遭おうとも全町民生き残る”

# 消防団との関わり

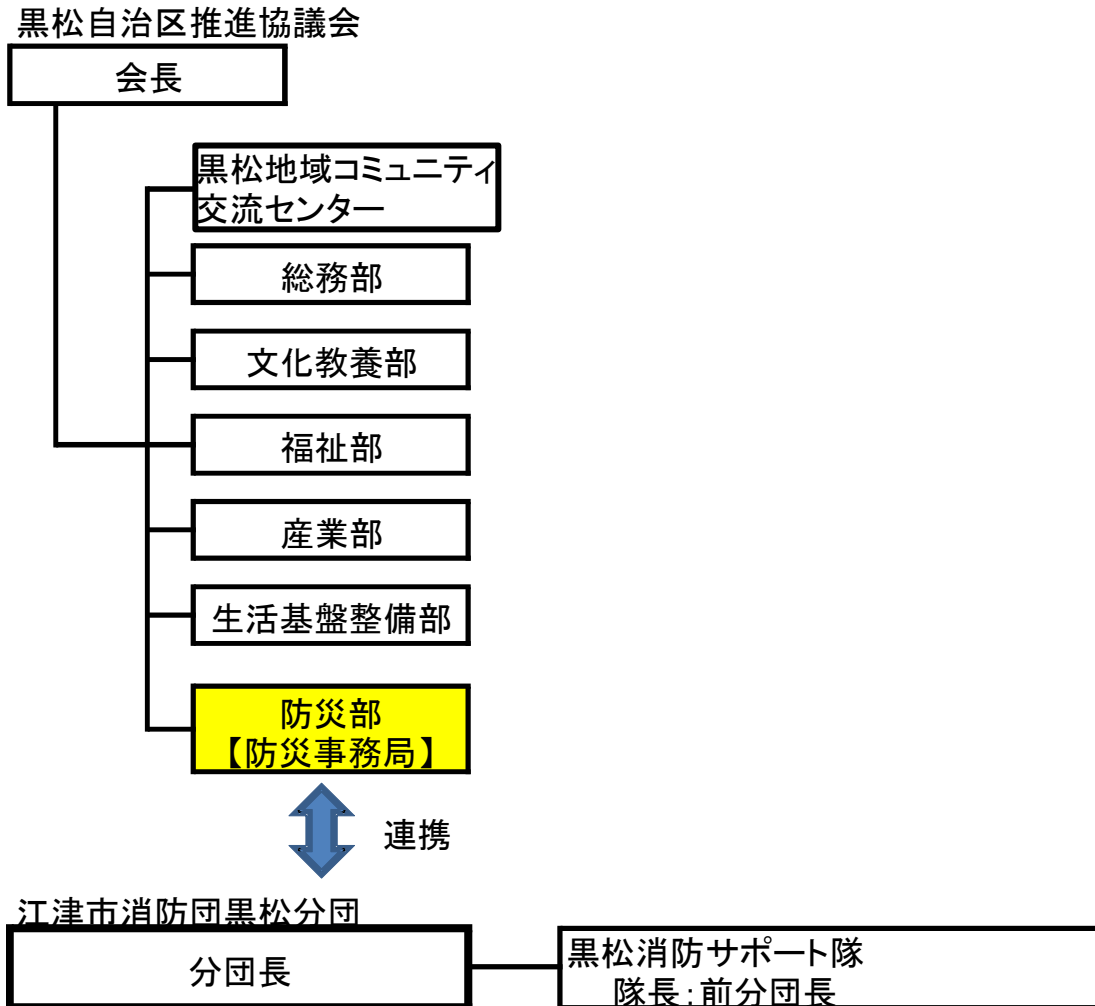
## ◎ 消防分団の役割

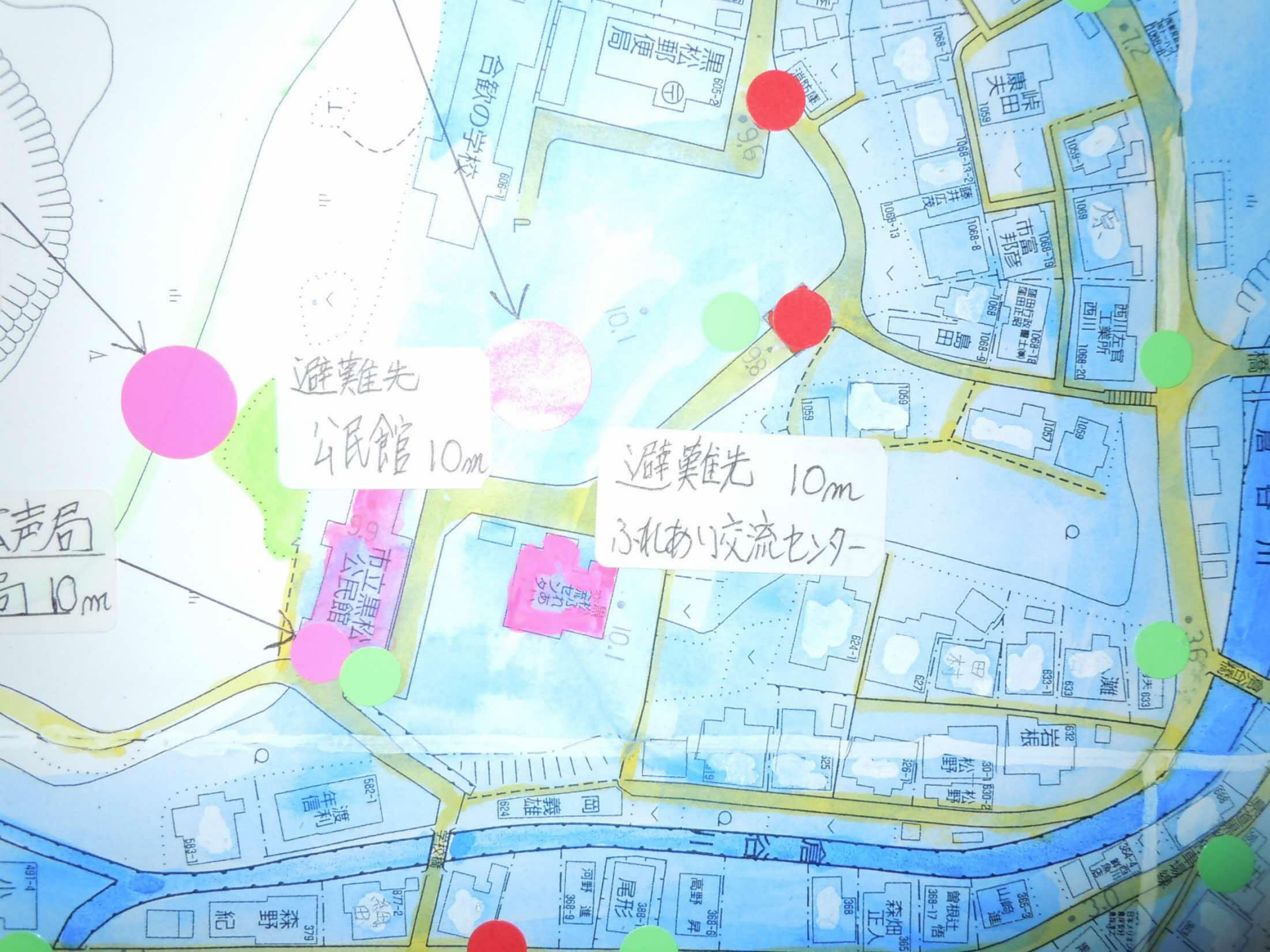
- ▽ 地域防災の要として、防災活動への取り組み
- ▽ 率先避難の実践
- ▽ 救助、消火活動

## ◎ サポート隊員（消防団退団者）の役割

- ▽ 消防団の補佐役

# 地域自主防災組織体制(H25～)





避難先  
公民館 10m

避難先 10m  
ぶらお交流センター

声局  
10m

台町の学校

黒松郵便局

康夫 1059

市富 邦彦 1068-8

原 1069

西川 工業所 1068-21

黒松市立公民館

ぶらお交流センター

田村 627

岩根 632

松野 301 330-2

森野 紀 379

尾形 398-1

高野 昇 368-6

森畑 正人 365

曾根 士 悟 369-17

山崎 進 365-3

西部地区 No.1

各班名、員数、防災行政無線、火災報知機、調査票

平成28年 7月 10日 作成

班名	各戸名	員数	防災無線	火災報知機	海拔m	海～距離	消火栓 No.	～の距離
15		7	有	1	7.0	150	No.6	60
		2	無	1	11.0	220	No.6	190
		2	有	1	10.0	190	No.6	130
		4	有	1	6.0	170	No.6	90
		2	有	3	6.0	130	No.6	50
		1	—	—	10.0	190	No.6	150
16		3	有	4	3.0	105	No.6	10
		2	有	1	3.0	90	No.6	50
		2	有	5	3.5	60	No.6	80
		1	無	1	3.0	95	No.6	30
17		2	有	—	3.5	150	No.5	20
		3	無	有	3.5	145	No.5	50
		1	無	—	3.0	155	No.5	10
		2	無	有	3.0	120	No.5	60
		4	無	有	3.0	130	No.5	40
		4	無	—	3.0	130	No.5	50
18		3	有	3	3.5	100	No.5	90
		2	無	2	3.0	105	No.5	80
		2	—	—	—	—	—	—
		1	有	1	3.0	110	No.5	90
		2	無	—	3.0	115	No.5	50
		2	無	—	3.0	110	No.5	60
		1	—	—	3.0	110	No.5	60



消火栓 No.5  
倉谷川付近



消火栓 No.6  
中川橋付近

# 防災部の取組

- 班会議制：26班に班編成
- 高齢者のサポート：高齢者見守り緊急連絡先カード
- 年に1回避難訓練の実施：毎年100人以上の方々が参加
- ※ これまで●回実施

# 班長の役割

- ① 班会議の主催
- ② 班員の把握(班員は各戸家族全員)
- ③ 防災行政無線・火災報知機設置状況を調査
- ④ 第1小部会(事務局)から班員への情報伝達
- ⑤ 班会議の記録・問題点を部会
- ⑥ 災害発生時、避難状況の報告と災害本部への  
連絡

※ 班長は避難時などで発生した事故等の責任は一切負  
わない

## 【班員の役割】

- ▽ 要援護者の把握・・・緊急時には助け合う
- ▽ 「防犯」も含めた「見守り」・・・平常時からの動向把握

# 班会議の議題

- 避難行動を実践する。
- 家屋内でダンス転倒等で室内から出られない
- 額縁等の落下はないか？
- 災害は昼間の明るい時とは限らない。
- 津波到達までに1時間以上時間がある場合  
要援護者の方に支援が出来ないか？
- 支援が出来るならば班内の把握をする。
- 非常持ち出し袋を準備していますか？
- 見守り活動を班で話し合い充実して頂きたい。

# 隣組班の育成

① 少人数で、より身近な問題、取り組みの意見交換

② 写真 班会議 1、2



# 班会議/緊急連絡カード/避難訓練様子



H25

## 緊急連絡カード

このカードは、ご自身が災害や病気の時など緊急の場合に連絡する方や、困った時の相談先を書き込めるようになっています。万が一の時にあわてなくてすむように防備録としてお使いください。防犯のため、このカードはご自宅の冷蔵庫に貼ってください。

(平成 年 月 日作成)

ふりがな 氏名	生年月日	夫:昭和 年 月 日	妻:昭和 年 月 日
ふりがな 氏名	住所	黒松町	帯地 電話
氏名	続柄	同居・別居	緊急連絡先(電話)
親 族		居	
		居	
地 域	区分	氏名	連絡先(電話)
	民生委員		
ご 近 所	氏名		連絡先(電話)
か かり つけ 医	医療機関名	受診科	連絡先(電話)
避 難 場 所			

**火事は、119番 救急車は119番 警察は110番**  
黒松自治区推進協議会

















# 自主防災活動について

## ①避難道の修繕

## ②写真 避難道1、2、3



## ③車椅子での避難時

## ④写真 防災グレ1、2、3



避難時、車椅子でのタイヤが挟まる為取り換え





# 非常持ち出し袋には？

飲料水 食べ物 懐中電灯 ラジオ 乾電池  
救急用品(消毒液・包帯・バンドエイド・ガーゼ)  
保温機能付きシート ガムテープ ビニール袋  
タオル マスク ウェットティッシュ サランラップ  
軍手 トイレtpーパー 現金 電話番号メモ  
ライター ビニール紐 帽子

飲料水は1人1日に約3Lを必要とする。

食べ物は加熱調理の必要ないもの(乾パン・缶詰・嗜好品(飴 チョコ 羊かんなど高カロリー))



adidas







# 転倒防止用品 (参考)

家具転倒防止伸縮棒 家具転倒防止チェーン



# 転倒防止用品（参考）

タンスガード



コーナー金具角型



# 取組の結果/効果

- 非常持ち出し袋を持参して訓練に参加する人が増えた
- 近所に声掛けをしながら指定場所に集まる姿が見受けられるようになった
- 地区民で避難道路のコンクリート補修・避難階段の補修

# 今後の目標/取組

- 訓練参加者数を100%へ
- 隣近所助け合い、より安全に、よりスムーズに避難できるように









